

無理せず、誰でもできる学級づくり（朝の会の一コマ）

五年生 二十六名と戯れる

原 一宏

教育実践などという大げさなものではありませんが、何気なく日頃やっていることを紹介して責務を全うしたいと思いません。

学級を作るに当たっては担任自身が自分に言い聞かせていることや願っているものがあるのでその事を少し紹介します。（詳しくは、私のホームページを参照してください。アドレスは最後にのせます。）現実はやはり厳しく、狭間にたたされ、ジレンマに陥っている毎日ですが、いつも理想を追い求めることは大切だと思っています。

（信念・信条・自問）

- 一、すべての人間は無数の可能性を秘めているのである。特に学童期の子どもたちには「自分のすばらしさ」を自覚させていくことが非常に大切。
- 二、担任自身、自分を好きになれ。自分の力を信じよ。明るい言葉を使え。
- 三、立場の弱い人間に対してさげすんだ言動をしてし

まう醜い心を戒めよ。

三、地位（肩書き）・名誉・財産・環境：そういうものを超えたところで勝負せよ。

四、当たり前のことを当たり前のこととして行え。

五、理解が遅い子・わからない子・うまくできない子・早く走れない子・うまく泳げない子…の立場に立って考えよ。そういう子ほど、先生を必要としている。あなたはこれに答えているのか。どれだけの手だてをうっているか。援助しているのか。そして、クラスを中心としてその子たちを活躍させているか。大事にしているか。見放してないか。

六、どんな人間も心の中では「認められたい」と思っている。

七、相手に対して思っていることは、自然と相手には通じている。相手は心の鏡である。

八、間違えるから、失敗するから、わからないから、それを乗り越え解決したいからみんな学校へやってくる。間違いや失敗は大いにやること。友達の失敗や間違いを励ますこと。

九、マスコミに流されるな。世の風潮に惑わされるな。五感に頼りすぎるな。現象面に惑わされるな。

十、子どもに親しまれ、親子に敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられる教師になれ。

十一、すべてプラス思考。物事をプラスに受け止め、明るくその日を生きよ。

十二、「人生のもつとも苦しい いやな つらい 損な 場面を 真つ先に ほほえみを持って担当せよ」

十三、常に感謝せよ。

十四、ベテランになればなるほど、謙虚になれ。

鼻が高くなったら気をつけよ。

十五、自分が変われば相手も変わる。相手を変えようとするな。

十六、人を裁くな。決めつけるな。

ちよつと抽象的でまわりくどくなりましたので、具体的にどうしていくのということを「朝の会」を中心にして述べます。(時間がないときはこの通りではありません)

【実践例】

○「すばらしい子」を自覚させることでどんどんやる気が出てくる。まずは褒める材料を徹底して見つける。

(朝の会の進め方)

①あいさつ

②クラス目標

③歌(構成的エンカウンター・ゲーム等)

④健康観察(保健係・担任)

⑤今日のニュース

⑥新聞記事発表

⑦係からの連絡

⑧先生のお話

朝の第一声は当番のかけ声から始まります。

「今日も楽しい、すばらしい一日にしましょう。おはようございます。」

「おはようございます」

これが原学級の「あいさつ」です。

私と子どもたちと背筋を伸ばし、目をしっかり合わせます。これが原方式のあいさつ直前の姿勢です。あいさつとはいったい何なのかという原点にいつも立ち返らせるのが大切ですね。(なかなかできないときもあります。)

「昨日のあなたと今日のあなたは全く違うのであり、一

晩の睡眠で細胞もかなり新しくなっている。その日に初めてお会いする人に、『又お逢いできてうれいすね。今日は天気でよかったですね。楽しく又やりましよう。』そんな気持ちを含めてね。よく私はこんなことを子どもたちに言います。子どもたちはわかったような顔をして聞いてくれています。本当はどうなのかわかりません。

気持ちのこもったあいさつをする時、子どもたちの様子をよく観察することが必要です。にこにこ目と目を合わせ、声もある程度出ている子はよいとして、目もうつろで何となくぼうっとしている子にも目をやります。朝の状態は前日の生活の過ごし方にも左右されるので、すかさず「生活の記録」の色分けのところをチェックします。そういう子に限って「生活の記録」が未提出であったり、色が付いていなかったりする傾向があるので、声がけは必ずしていきます。朝の表情が何より大事な子どもたちの無言のサインです。

一人ひとりと目を合わす瞬間にぱつとキャッチします。何をキャッチするかというと、褒める材料を少し仕入れるのです。たとえば次のようなことです。(担任の思いも書きました)

①髪型 (昨日後ろで縛っていた子が今日は前にた

らしているな。)

②あの子は髪の毛を切ってきたな。かわいいな。

③教室の窓や廊下の窓が開いているけれど、開けてくれたのは誰かな。

④今日は花瓶にきれいな花が飾ってあるねえ。誰が持ってきて、誰が飾ってくれたのかな。お礼が言いたいな。(ちよつと朝の会で確認してみよう)

⑤ちよつと元気ないな。どうしたのかな。後で握手しながら聞いてみよう。

⑥昨日よりもずいぶん表情が軟らかいな。何かいいことあったかな。

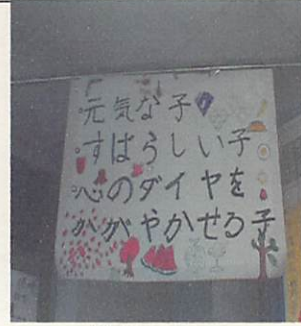
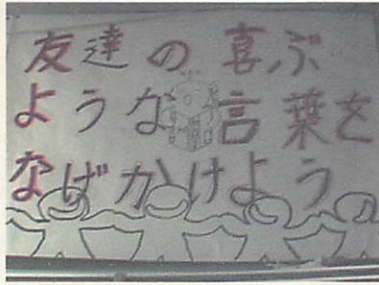
この後、クラス目標をみんな確認します。

(担任)「だれやる?」

(A君)すかさず手を挙げる(全員が回るように譲り合って自然に決まってい)

(A君)「元気な子」

(みんな)「元気な子」

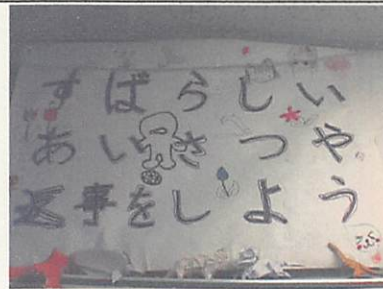


学級 テーマ

- (A君) 「すばらしい子」
- (みんな) 「すばらしい子」
- (A君) 「心のダイヤをかやかせよう」
- (みんな) 「心のダイヤをかやかせよう」 (以下略)



クラス目標



※放課後できたかできなかったか、自己評価をします。

(クラス目標)

1. 友だちの喜ぶような言葉をなげかけよう。
2. 友だちの意見にプラスに反応しよう。
3. すばらしいあいさつや返事をしよう。

次に音楽係の用意してある歌をみんなで歌うことになり
ますが、朝、子どもたちの調子が出ないとき、体を動かし
た歌を少し取り入れます。

- お寺の坊さん
 - 輪唱
 - 汽車
 - 山小屋一軒
 - くつやのおじさん
- (詳しくは玉川学園出版部 「愛吟集」・「歌遊び」
だと思いましたが、参考にされてみてください。)

次は私の考えたオリジナルです。(少し気分をリフレッシュさせ、次の時間にバツと気持ちを切り替える時に効果的です)

①「ゆかいに歩けば」を歌いながら 教室を歩く

②ちよつと「元気がないな」という友だちの後ろについて 元気づける (歌いながら)

③歌が終わったら、その場で一番近い人とじゃんけんし、勝ったら自分の席に着く。負けたら、違う友だちとじゃんけんし、勝ったら、自分の席に着く。最後に残ってしまった子がいた場合、お助けマンとして先生と勝つまでじゃんけんする。(まわりは一生懸命応援する)

⑤の今日のニュースでは昨日家であったこと、朝の出来事などを自由に出します。(前担任がやってきたことを継続しています。前担任が試みたことが子どもたちに定着していてすばらしいことは、どんどん継続させます。)

「えっと今日ね、信号機のところで教頭先生がいてね。『おはようございます！』と言ったら、『おはよう。』と明るく返してくれてうれしかったよ。」

「えっとね。きのうね。妹がね。なんだかむにやむにや訳のわからない寝言を言っていてね、枕をけっ飛ばしてきておもしろかったよ。」

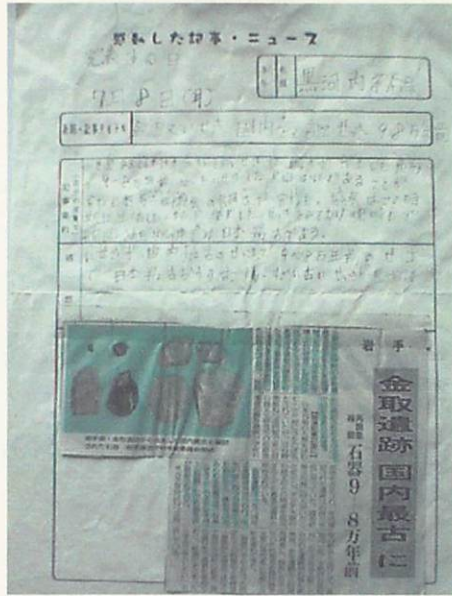
「今朝は、とつてもきれいな花が道に咲いていたよ。ちよつと持ってきたから、みんな見てね。」

「とつても楽しい本だからこれ教室にしばらくおいておくから見よ。」「もうちよつと詳しく言つて。」…
…こんな風に会話が續いていきます。

⑥新聞記事発表

しばらく子どもたちの様子を見てみると、発表内容が「事件」「交通事故」等の暗いものばかりに偏ってきました。ニュースというとやはりそういうものが氾濫しているせいでしょうか。そこで、少し条件を出しました。①自分が感動した記事。②人間のすばらしさが出ている記事。発表するときの注意点は 以下の通りです。

①自分の言葉で発表する。 ②聞いている人にかかのように発表する。 ③自分の感想を入れる。 ④どこの新聞社の記事かはつきりさせる。



「遺跡」の発見を取り上げた新聞記事

この後、係からの連絡・先生の話と続いていきます。
 ここでは連絡事項で終わってしまう場合もあるのですが、
 できるだけ、①朝の会の様子でよかったこと②あいさつの
 時に発見した褒め材料から③〇〇先生がとっても褒めてい
 たこと…などを中心に話を進めます。
 最後に子どもの作文と「帰りのあいさつ」を載せ終わりに
 します。

私たちのクラスはすばらしいクラスです。クラスでは、「元気な子」「すばらしい子」「心のダイヤを輝かせる子」を合い言葉に、クラス目標に向かって、明るく元気で楽しいクラスにしようと努力しています。
 帰りの会では、友達の良かったところを発表して一人ひとり良いところを出しています。
 私たちのクラスでは「笑顔」も忘れません。楽しいときは思いっきり笑います。でも、悲しいときもあります。そういう時でも、思いっきり泣きます。
 こうしているだけでも、クラスは明るくなると思います。
 (五年 女子)

「今日も楽しいすばらしい一日になりました。」
 「ありがとうございます。」
 「気をつけてお家へ帰りましょう」
 「さようなら」

Eメール:

goodluck@ina-ngn.ed.jp

luckyboy@avis.ne.jp

URL:

www.avis.ne.jp/~luckyboy/